

## 公聴会記録書

- 1 対象準備書：（仮称）都市計画道路 伊駒アルプスロードに係る環境影響評価準備書
- 2 日 時：平成30年7月21日（土）午前10時30分～10時40分
- 3 場 所：長野県伊那合同庁舎 5階 講堂
- 4 公 述 人：サカイ技研 代表 木嶋彰弘（伊那市）
- 5 陳述の内容：

伊那市東春近のサカイ技研の代表木嶋彰弘と申します。よろしく申し上げます。

今回、弊社で一番懸念する点は、道路工事による振動、道路完成後の自動車の往来による振動の影響です。

弊社は10,000分の1ミリの精度で金属部品の円筒研削加工を行っています。そのため、人体で感じない振動も、弊社では禁物です。

その振動に対して、以前弊社の近辺で国費を用いた道路工事がありました。その際に、振動による影響を懸念し市役所に事前に調査をいただきました。その際に、「揺れの影響は絶対にありません。ご安心ください。」という回答をいただいた後に工事が始まりましたが、工事が始まると、振動の影響で操業を停止せねばならない状況でした。

今回は前回より大規模な工事が予想され、また、開通後の自動車の往来を考えると、振動による影響で加工精度が保てず、仕事ができなくなることが経験上確実だと思います。

道路工事及び道路開通後の振動について、是非、対策をお願いします。

弊社の要望は道路工事に反対しているわけではなく、今後も今まで通りの加工精度を保ち、弊社が一日も休むことなく操業し続けることです。その中で、弊社の取引先や親会社等の振動に対する対策を見ても、非常に振動に対する対策は難しいです。理由としては、どのような対策を採ろうと、地面は繋がっているため、振動は低減できても無くすことはとても難しく、成功しているところを見たことがありません。

また、弊社の場合、家と工場が同一敷地内にあり、そのおかげで取引先から24時間365日営業ができるということで、地域の中でも頼りにされ、営業を行っています。

振動を無くす対策が難しいことと、家と工場が隣接しており24時間365日営業を行える強みも含めて、振動に対して私が考える対策は、家と工場を移転するしかないかなとは思っていますが、是非、県の方、国の方に振動に対する対策を検討していただきたいと思いません。

以上です。